

単元名 【旧】味わってみよう和の形(鑑賞)

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 自分たちの暮らしの中にある「和の形」の特徴をとらえ、それを生かした表現を工夫することができる。
- (2) 自分たちの暮らしの中にある「和の形」のよさや表現の特徴を感じ取り、日本の美術への親しみを深めることができる。
- (3) 自分たちの暮らしの中にある「和の形」について考え、味わおうとしている。

## 標準的な展開例

06080205\_001

【準備等】日本美術の複製（映像や掲示物），巻物，扇，屏風などの模型，和紙，画用紙，色鉛筆，墨，筆和柄のもの，和柄の図版，液晶プロジェクター，水彩用具一式，サインペン，色鉛筆

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 教科書に紹介されている和の形のよさや美しさについて話し合う。</p> <p>○身の回りにある和柄のものについて紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雑貨</li> <li>・服</li> <li>・食器</li> </ul> <p>★日本の美術を知り，よさを味わおう</p> <p>○教科書の参考作品について話し合う。（言語活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・扇…使う場所に応じた模様</li> <li>・掛け軸…季節や来客に合わせて掛け替えられる「四季山水図（冬）」</li> <li>・巻物…巻き取りながら右から左に読んでいく「鳥獣人物戯画卷」</li> <li>・文様…自然の形や色を単純化したものを繰り返してできた模様（着物，手ぬぐい）</li> <li>・根付…小物につける小さな飾り</li> </ul> <p>2 日本の美術のよさを今に伝える和柄を模写する。</p> <p>○和柄を写したり，色をぬったりする。</p> <p>○自分の作品を紹介したり，友達の作品を見て感想を話し合ったりする。</p>	<p>・教科書 5・6下 P. 40, 41</p> <p>・美術館や本で見たもの，時代劇などで見たものから発表させてもよい。</p> <p>・実際に，今でも使ったりよく見たりするものがあることに気付かせる。</p> <p>・どのようにして見たり使ったりするのか考えさせる。</p> <p>・現代の生活に通じる部分に気付かせる。</p> <p>・模写などによって受け継がれる伝統について知らせる。</p> <p>・当時の人々の生活を踏まえ，そのよさや面白さを感じさせるようにする。</p> <p>・現在ではあまり使われていない根付や印籠なども紹介し，興味を深めさせる。</p> <p>【評】活動を通して，自分たちの暮らしの中にある「和の形」のよさや表現の特徴を感じ取る「鑑賞の能力」を評価する。</p> <p>・図版などから，気に入った和柄を選ばせる。</p> <p>・コンピュータを使い，色を着けさせてもよい</p> <p>【評】作品を通して，自分たちの暮らしの中にある「和の形」の特徴をとらえ，それを生かした表現する「表現の技能」を評価する。</p> <p>・作品を見せ合い，面白いところや，うまく表現できているところなど，お互いの感想を伝え合わせる。</p>

## 【 備 考 】

この単元では，生活を豊かにするために受け継がれてきた日本の美術を知り，そのよさを味わう活動を行う。日本の美術と聞いて思い浮かべることを発表し，それがどのように使われたり楽しまれたりしていたかを考える。生活の中に息づく日本の美術のよさを知り，日本の美術への親しみと関心を深めることが大切である。言語活動では，昔の日本に思いをはせ，感じとった日本美術のよさや表現の特徴をのびのびと発表させた